

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成30年度事業計画書

※ICT(Information and Communication Technology): 情報通信技術

【公益目的事業】

[公益 1] 私立大学における情報通信技術活用による教育改善の調査及び研究、公表・促進

(1) 情報通信技術による教育改善の研究(継続)

【事業組織】 学系別 FD/ICT 活用研究委員会  
分野別バーチャルキャンパス・コンソーシアム運営委員会

ICT を活用した教育改善の研究と促進を普及するため、二つの事業を実施する。

- ① 6つの分野連携グループによる対話集会を実施し、アクティブ・ラーニング(AL)の質向上に向けて思考力・判断力を高める ICT の活用を研究するとともに、ネット上で学内外の意見を取り入れる教育改善の仕組み、学修成果の質保証に向けたビデオ試問による外部評価の仕組みなどを議論し、実現に向けた課題・対応等について認識の共有を行う。

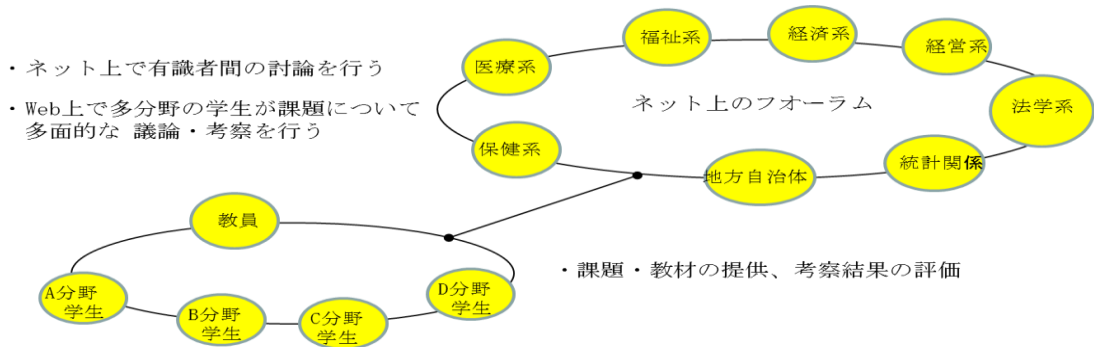
分野連携のグループ(G)		主な研究テーマ
対話集会	社会福祉学・社会学・教育学・統計学・体育学G	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALの質を高めるICTの活用法</li> <li>ネット上で学内外の意見を取り入れる教育改善の仕組み</li> <li>学修成果の質保証に向けた外部評価モデルの仕組み等</li> </ul>
	経営学・経済学・会計学・心理学・数学G	
	英語教育・法学・政治学・国際関係学・コミュニケーション関係学G	
	機械工学・経営工学・建築学・電気通信工学・物理学・土木工学・化学・生物学G	
	栄養学・薬学・医学・歯学・看護学G	
	被服学・美術・デザイン学G	

- ② 多面的に考え、本質を見抜く能力を目指す授業モデルを研究するため、ICT を活用した分野横断的な授業モデルを三つの分野で継続して研究する。

一つ、医療系分野（医学・歯学・薬学・栄養学、看護学、社会福祉学）では、ネット上で多分野のチームを編成して国又は社会で抱える問題をテーマに、有識者によるフォーラムのビデオや Web 情報を教材にして知識の関連付けを行い、批判的・論理的な思考力、合理的な判断力などの獲得を目指す PBL(プログラム・ベースド・ラーニング)の可能性について研究する。

二つ、法律学分野では、法律と他分野が絡む社会問題を取り上げ、複数分野の教員・社会の有識者が参加してネット上にフォーラムを形成し、学生に議論させることで、批判的に法政策の現状を分析し、問題解決を思考・提案する能力の獲得を目指す「法政策フォーラム型授業モデル」について試行する。

三つ、会計学分野では、社会人の学び直しにつながる研究として、会計以外の分野と知識を組み合わせる考察させる統合的な学び（例えば、経済活動を活性化する分野横断型の授業モデル）の研究を継続する。



【フォーラム型授業のイメージ】